

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 重心型放課後等デイサービスSunny

公表日：2026年 3月 3日

利用児童数：15名

回収数：11名(73.3%)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	10	1			今は身体が小さいしいが、将来的に皆大きくなると少し狭い	現状ご満足いただいているとの評価と受け止めていますが、将来的なお子さまの成長を見据え、活動スペースの使い方や環境設定を継続的に見直していきます。
	2	10	1			何人体制か分からない。	法令で定められた基準人員に加えての人員配置をしておりますが、日によって出勤状況が変わります。入浴等の支援もあるため、基本的にはマンツーマン以上の職員配置をした支援体制を敷いています。今後も安心して頂けるような情報公開に努めます。
	3	11					
	4	11					
適切 な 支 援 の 提 供	5	10	1				
	6	10	1				
	7	11					
	8	10	1				
	9	11					
	10	10	1				
	11	5	3	3			なかなか地域の児童さん達との交流の機会は作れておりません。商店街という立地を活かして、地域のイベントに積極的に参加するなど、機会を増やしていきたいと思えます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	11					
	13	11					
	14	7	3	1			まだまだ保護者様向けの情報提供や、イベントの充実はできていないと思えます。ご家族、ごきょうだい楽しめたり、知りたい情報を提供できるような機会づくりに努めます。
	15	10	1				
	16	11					
	17	11					
	18	9	1	1			設問14への回答と同様、ごきょうだいへもむけたイベント等の機会作りに努めたいと思えます。
19	10	1					
20	11						

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	5			マニュアルは作成されていますが、ご家族への周知はできておりませんでした。今後訓練の中で内容をブラッシュアップしながら、個人面談の機会には閲覧できるようにしておくなどの対策を講じます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	3	1		現状は机上訓練や、職員のみでの実地訓練が主となっております。今後は実施内容を精査しながらお子様、ご家族様にも協力いただく形での実地訓練も取り入れて行きたいと思います。また実施報告なども充実させていくようにします。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	2			
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	2			
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	11				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	10	1			
	29	事業所の支援に満足していますか。	11				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		重句型放課後等デイサービスSunny					公表日		2026年3月16日	
		チェック項目	はい	どちらともい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援等のスペースとの関係で適切であるか。	2	3	4	活動に応じてフロアの使い方を変えている点などは工夫できている。バギーを共用して私物預かり用品を減らし、床面積の確保をしている。広い空間で床暖房があり冬は温かい。	静養や臥床が必要な子達へのベットやポジショニング用品は買い増しが必要と考える。狭い。座位保持椅子や療育用品等で床面積が手狭となっている為、収納棚等の設置が必要。動線の変更が必要。利用定員をオーバーしている時がある。収納スペースの確保。限られたスペースで場面を変えているところは工夫していると思う。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	0	7	2	出勤数や利用者数に応じて入浴対応を臨機応変にできている点（必ずしもそれが良い点とはいえないが…）。利用児の滞在時間にパート職員の配置がある点。様々な業務をみんなで行っている。	スタッフの増員ができれば、入浴や活動もよりご家族の要望に添ったものなどの展開の幅が広がられると思う。職員が多すぎる。利用児の体格的な成長の為、二人介助が必要な場面が増えてきている。もう少し人員が必要。加算を算定したりより良いサービスをするために人員増を望む。やるべきこと、やりたいことが多く整理が必要。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	5	3	利用人数や活動内容によって、物品の配置を変えたりと細かい調整が出来る。	物が多すぎる。こどものトイレは、姿勢が安定しやすく職員も扱いやすく、かつ清潔を保持できる設備が必要。複数の重心児さんが同時に過ごす為、カーテン付きオムツ交換のスペースの増設が必要。こどもにわかりやすい活動時間の表示の構造化は、今後の課題。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	4	2	ベッドや床暖等は心地よく過ごせる設備である。毎日の拭き掃除で清潔を保っている。助成金によりポジショニング用品や遊具等が揃いつつある。限られたスペースで努力している。	動線がわりにくい。活発に動く呼吸器使用児さん用に、スムーズなキャスター付き専用台の検討が必要。床での臥位時間の、柔らかめのマット（敷布団）の検討が必要。便器のすぐ近くで更衣をすることに少し抵抗があります。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	3	4	個別の部屋の使用はスペース的にも出来ていないが、ベッドを使用したらいパーテーションを使って仕切るなどの工夫が出来ている。個別に過ごす時間の設定がある点。カーテンを敷くなどしてプライベートスペースを確保している。羞恥を伴う介助に対しては、スクリーンで対応出来ている。	施設の特性上、個別の部屋の用意はできないが、個別にすごしたいと意思表明できるような支援は今後の課題。もし眠たくなっても、寝られる空間が皆と同じ空間しかないの、疲れていても寝られない環境がない。発熱がご家族のお迎えまで他児と隔離する部屋がない。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	1	8	0	送迎前に、職員が声をかけ合って、記録の時間を取れるようにしている点。職員同士の振り返りやミーティングが多く情報共有がしやすい。話をする機会は、充分あると思う。提示の仕方や進め方に改善の余地があると感じます。	日々のMTGでの意見共有や議論は出来ているが、PDCAのサイクルに則ってと言われるとそうでもないかも知れない。業務改善のための目標設定は、今後の課題である。時間内業務と定時退勤の意識は、職員の健康維持の為にも引き続き必要と思う。業務に関する物品購入や研修課題等も、必要業務として時間内にする意識を高めたい。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	6	0	日々の情報共有やカンファレンス等で機会を設けている。	保護者向け評価の結果を、できれば担当職員が把握し、年間を通した対応の必要があると思う。漠然と工夫、改善の余地があると感じています。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	2	1	MTGに多くの時間を割いているで意見把握は出来ていると思う。職員間は自由な意見をしやすい雰囲気になっている。送迎後にふりかえりの時間も確保できてきている。日々それぞれに疑問に思っている事は話しやすい雰囲気です	MTGの時間が決まっておらず長くなりがち。時間を決めて取り組むと業務改善はもっと促進されるかも。問題提示は出来ているが、その後進まない事が多い。			

	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	6	2		第三者評価の受診にむけて、社内業務の見直しをしても良いかと思われる。(第三者評価を受診しているかどうか) 把握していない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	3	0	多くの職員に研修参加の機会が与えられていると思う。研修により知識のアップデートをする機会を頂けている。私自身は希望する研修に参加できてはいるが、本当に必要なものかどうかの吟味と評価が必要かもと思う。業務時間内に研修が参加出来て知識の向上が出来ている	研修記録を書いたり、それを社内で伝達研修としたり、といった動きはもう少しきちんと出来ても良いと思う。研修はあるが、内容に偏りがある。職員全員でブラッシュアップする施設になる為に、前年度を参考に1年間に予定されている研修や学会を、年度始めに把握して心構えができるといいと思う。計画的に、意図的に進める必要がある。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	2	0	日々の情報共有の時間に、支援内容や方法の共有ができています。	9月から10月の(個別支援計画の)更新が夏休みなどもあり、タイトだと感じる。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	4	0	保護者面談も定期的実施。またモニタリング会議は月1で実施し、お子さんの状況把握やニーズ把握に努めていると思う。	個別性はある事を前提に、どの様な過ごしが良いのか提案中
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	3	1	担当制で職員が割り当てられている。月1のモニタリング会議でも全職員での検討が出来ている。担当制により、全職員が支援計画作成の流れを把握できつつあり、責任をもって細かに見直しできている。これまでより討議、共有の機会が出来てきていると感じる。	モニタリング会議の記録書式の統一をすると、議論も深めやすくなり、記録もしやすくなると思う。少なくとも月2回程度、全職員参加のカンファレンスの日時設定をして頂き、年度始め等の事前に把握したい。その際は内容の優先順位を持たせて、共通理解に努めたい。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	5	1	HUGでいつでも確認できる点は良い点だと思う。	少なくとも月2回程度、全職員参加のカンファレンスの日時設定をして頂き、年度始め等の事前に把握したい。その際は内容の優先順位を持たせて、共通理解に努めたい。モニタリングで話した事を忘れていた時がある。目の前の課題に引っぱられ、中長期的な課題が忘れ去られがち。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	5	2		標準化されたアセスメントツールを把握していない。日々の行動観察の振り返りはできつつある。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	4	0		移行支援の内容を具体的に深められると良い。その為の研修や勉強会の実施などができればと思う。既に実施している地域施設との交流や、ヘアカット等も、今後は支援計画に含め、「地域支援」「家族支援」を意識していきたい。具体的な方法を模索中
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	5	2		療育チーム、保育士さん頼みになっている部分はある。全員で企画、立案できる場づくりができればと思う。もう少し、皆の共通理解が必要かと思う
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	5	0		
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	4	0	計画上は個別活動としての記載が多いが、実際には集団で行う活動も適宜取り組んでもらっている。個別に過ごす時間の設定がある点。日々のミーティングで確認し、実施出来ている時もある。	個別にすごしたいと意思表示できるような支援は今後の課題。 来年度は放課後の来所時間が遅くなりSunny滞在時間が短縮の為、支援内容の見直しは必要。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1	1	めちゃくちゃ丁寧に出来ていると思う。出勤者に合わせた時間でその日のカンファレンスを行えている。以前より具体的な打ち合わせができてきていると感じる。	もしかすると時間をかけすぎているかも…。	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	2	1	短時間でも振り返ろうと共通認識が出来ている。難しい時は翌日に回すなどの工夫が出来ている。時々抜けることはあるが、以前と比べると出来ている。	これも振り返りの記録様式の統一などができれば振り返りやすくなるかも知れない。振り返りや連絡の終了は18:55目標を習慣にしたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	4	1		HUGでの保護者連絡内容は申し分ないが、職員間で必要なケア提供記録はあまり充実出来ていない。支援の継続性を保つ意味でも、社内職員向けのケア記録、情報記録が充実すると良いと思う。 ケア記録のコピペを忘れてしまっている時がある。以前の記録確認が困難。(活動記録、ケア記録、業務日報、保護者連絡、モニタリング記録等、情報量が多く散在していて把握しにくい。…改善方法はわからない) ご家族用の記録にとどまり、データとしての記録は不十分と感じる
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	1	0	月1のモニタリング会議が出来ている。	職員全員参加のモニタリング日時を事前に設定して、優先度の高いケースの共通理解の機会にしたい。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5	4	0	質の向上は必要であるが、出来ていると感じる。	今後は支援時間が短縮される為、さらに工夫が必要。制度ではあるが制度に引っ張られすぎないように、本人主体や家族のニーズを大切にできたらと思う。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	5	1	意思表示が難しい子たちでも、視線、まばたき、うなづき、首振り、身振りなどをしっかりと観察しながら本人たちの自己選択をしっかりとくみ取ろうという意識が職員みんなに育っている。 活動の中で色を選択する等の機会を設定している。「どうする？」等の言葉かけにより意思決定の機会を設定している。	ご家族や学校から情報収集をして、細かい意思表示の手段を準備していきたい。おやつ内容や、活動内容の選択、NOの意思表示の機会も増やしたい。 意思表示の方法が限られている人に対しては、手立てが必要と感じている。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	6	0	あまり会議がない。電話等での情報共有には、状況を分かったものがきちんと回答を返すことが出来ている。	会議自体が多くない。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	4	0	学校送迎時に学校の職員と情報共有をしている。Sunny訪看とも連携できている。今年度は医療機関とも同行を通じて連携できてきた。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	3	0	放デイの参観日を設定し、学校の先生に来てもらう機会を設けている。また学校行事にも積極的に参加することで、先生、保護者共に日々のコミュニケーションがとりやすくなっていると感じる。	もう少し事前に学校の年間計画と行事予定を把握して、Sunnyの活動を調整できれば、利用児さんにとってより良い支援となると思う。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	5	0		今年の新規の受け入れがない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	9	0		現状対象の利用児さんがいない。今の移行のケースはない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	6	1	ここのわ主催のzoomミーティングで、病院職員からのスーパーバイズや助言を頂く機会があった。	児童部会等への参加は積極的に行っているがスーパーバイズを受けるまでには至っていない。他職員が受けた研修の報告会も積極的にしたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	6	2	フリースクールのこどもさんとの交流や、地域のハロウィンに参加できた。	積極的に地域の児童館に出かけていったが、重症児や医ケア児というところで露骨に受け入れを躊躇されたことがあった。地域へのアピールという意味でも私たちの啓発活動や事前調整が足りなかったと思っている。(職員が)理解のある児童館とつながりたい。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	1	6	2		把握していない。

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5	4	0	HUGの連絡や記録と、送迎時にコミュニケーション取れている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5	2	嚥下食の勉強会は実施。	ご家族への研修機会の提供はまだ作れていない。情報提供の意識を高めたい。まずはご家族の知りたい情報の調査が必要。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	3	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	4	0	こどもの最善の利益の優先というより、まずはご家族のニーズや希望を尊重し信頼関係を保つ必要があると実感している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	2	0	モニタリングや書類の用意や面談等を、計画的にすすめてくれる。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	4	0	送迎時等に相談された内容をすぐに他の職員に共有している。職員間で意見交換しやすい雰囲気があり、最善の支援に結びついていると思う。	傾聴しながらまずは思いを受け止める、ご要望を聞き取るということを中心としているが、本当の意味で、子育て上の悩みを相談してもらえる支援者になれているか、と言われると自信がない。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	6	1	保護者会ではないが、家族、ご兄弟が参加できる映画会イベントを実施することができた。反応、感想も上々だった。クラリネットコンサート等のイベントにご家族にも参加していただき交流の機会とする予定。	Sunny利用中の参観の機会を作りたい。（物理的にも精神的にも交流しやすいと思う。）保護者さんの交流に関するニーズも把握したい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	4	0	支援前後に共有する時間を取れている。	苦情対応についてのマニュアルの職員への周知や、対応の仕方を学ぶ機会はあまり作れていなかった。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	4	2	〇〇通信などは発行出来ていないが、適宜行事についての案内や相談は出来ていると思う。HUGやインスタで、連絡体制や活動報告ができています。	他の放デイがどのような工夫をされているか情報収集したい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	4	0	インスタ等への顔出しの意向を毎年確認できている。	パソコンのロックや個人IDの取り扱いなどは、もう少し厳しく運用した方がよいのではないかと感じる。管理者PCがフロアから丸見えなのもあまり好ましいことではないかも。写真撮影時にホワイトボードやロッカー等の記名が写り込まないようにカメラの設定や角度を意識したり確認したい。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	3	1	それぞれのこどもさんの特性に合わせて対応している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	7	1	クラリネットコンサートの保護者さんの参加人数をみてから地域の方数名にお声かけを検討中。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	6	0	発生しやすい事案についてはマニュアル作成と研修をした。	マニュアルの作成はあるが、職員を含め、ご家族への周知はあまり出来ていない。訓練の火災などの法定訓練に限られているのでもう少し内容の充実を図りたいと思う。マニュアルの確認と周知ができているとは言えない。定期的にブラッシュアップした研修が必要。防犯（不審者）の訓練を実施しておらず、営業中に鍵がかかっていることも少し不安です

非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	3	0	災害時の個別対応カードを作成中。避難訓練済	BCPは策定しているが、職員への周知はあまり出来ていない。BCPの内容周知からはじめて具体的な訓練実施まで落とし込みたいと思う。 備蓄品や追加の予備バッテリー購入（拠点整備費）の予算設定が必要。 他施設やご家族と協力し、全員の非常用ポーチ（1日分の内服薬等）作成の検討が必要。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	3	0	通常の状況確認はほぼできている。	他施設やご家族と協力し、全員の非常用ポーチ（1日分の内服薬等）作成の検討が必要。 予防接種の確認がされていない？
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	3	2	食物アレルギーの利用児は今はいない。現在対象者不在。	（提供したものが）Sunnyでの摂取が初めてかもしれないと職員が意識し、摂取後の状態観察は必要。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	5	0		計画は策定されているが、職員周知の部分はまだまだ改善の余地があると思う。把握できていない。 新たに入職された方に一定の説明は必要と感じる。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	7	0		ご家族を含めた防災訓練を行うなどを実施していきたい。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	2	0	ヒヤリハット報告書、事故報告書に記載できている。	把握できていない。ヒヤリハットの全職での振り返りは不定期になっているので、定例でしっかりと行うようにしたい。ヒヤリハット振り返り会は、なるべく多くの職員がいる日時に設定をお願いしたい。会議の定期開催が必要。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2	7	0		虐待に関する研修を受けられた職員の報告会もしたい。事業計画を作成し、計画に沿って進める必要がある。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	3	0	身体拘束とならないように、安全なベルトの設置ができた例がある。		